

しよしや通信

○家電3兄弟

vol.9 平成24年7月

ルンバとゴパンとレグザ。新しい家族の一員です。ルンバは外国からやってきました。ゴパンとレグザは日本生まれの日本育ち。ルンバは床掃除の、ゴパンはパンづくりの、そしてレグザは記録の達人です。子供が大きくなって、家を出て行って、同居の人数が減ってしまいました。そんな我が家にやってきた彼らは家電です。

ルンバはけなげです。50cmほどの大きめのフライパンみたいな本体。その下のほうにブラシがついていて、床のゴミをかき集めます。まずはぐるぐると螺旋を描いて動いていきます。壁にコツンと当たると、机の脚にコツンと当たると方向を変えます。そして、部屋の中をあちこちとへいくのですが、ちゃんと行った場所を覚えています。部屋の中を漏れなく掃除して、終われば、充電のためにコンセントのところまで、自分で戻っていきます。動き出すと、いつまでも後ろから見守ってやりたくなります。段差から落ちない仕掛けになっているのですが、先日玄関からずり落ちかけていたのはご愛敬でした。

仕事を命じられると、忠実に実行します。注意されたり、叱られたりすると、素直に方向転換、一言の文句もありません。そして、へこたれません、ふてくされません。

ゴパンは自己主張が強い。生の米粒をそのまま入れて、少々粉（よくわかりませんが、麴のようなもののようなです）を加えてスイッチを入れると、それだけで、数時間後には、焼きたてのパンができあがります。米から作ったパンです。少々かさばるので、キッチンからはみ出てしまい、食卓の片隅にあります。翌朝の美味しいパンのために、夜遅くにスタートさせると、「ガァー、ゴォー」、「ペタン、ポタン」とやかましく、振動も伝わってきます。夜遅いわたしの食卓が工場のようになります。ですけど、翌朝の出来上がりのことを思うと、我慢できます。

自己主張の強さは、何でも自分でできるという頭があるからでしょうか。その分、仕事はできます。何の指導もしなくても、完璧な仕事をしてくれます。周りとは多少の摩擦はありますが、それでも最終的には刺激を与えてくれて、活性化してくれます。

レグザは寡黙でまじめです。地デジ6局分、24時間、すべてを録画していきます。一つ一つ予約しなくても、全部をまるごと録画します。そして、4日分が残って、古いのを順に消していきます。ビデオやCDに保存するのではなく、コンピュータの中に記録していく仕組みです。夜遅く帰ってきて、昨日の「いいとも」でも、ちょっと前の「ニュースステーション」でもみることができます。昔、子供の頃、テレビの番組を見るのに学校から早く帰ってきた時代には想像もつかなかった出来事です。

コツコツと仕事をしてくれます。朝から晩まで24時間、まったく休みを取らずに、退屈な作業を続けてくれます。飽きないのですかねえ。仕事は正確です。

さて、みなさん、同僚にするなら、あるいは部下にするなら、ルンバとゴパンとレグザ、誰を選びますか。私が社長なら、どのタイプも大切にします。ただし、新入社員にはルンバのように、とにかく体を動かして、いろんなことを教えてもらってほしいものです。中堅どころになれば、ゴパンのように仕事をすべてお任せします。そして、自分を主張して、会社を発展させていただきたい。ベテランになればレグザのように、安定した仕事を望みます。家電の話が人の話になってしまいました。書写病院の職員は全部で〇〇人です。いろんな人がいます。ルンバもゴパンもレグザもいます。そして、誰もが精一杯に頑張ってくれています。